

2025 年卒

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2025 調査結果 (2024 年 3 月発行)

2025 年卒の採用広報が 3 月 1 日に解禁され、就職活動がいよいよ本格化した。企業の採用意欲が一層高まる中で、学生たちはどのようなスタートを切っただろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は 43.2%。前年同期実績 (32.4%) を 10.8 ポイント上回る
- 内定企業の 7 割 (72.0%) が「インターンシップ等^(※)参加企業」

2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数は平均 21.2 社。前年同期 (19.1 社) より 2.1 社増加

3. 就職活動解禁を迎えた心境

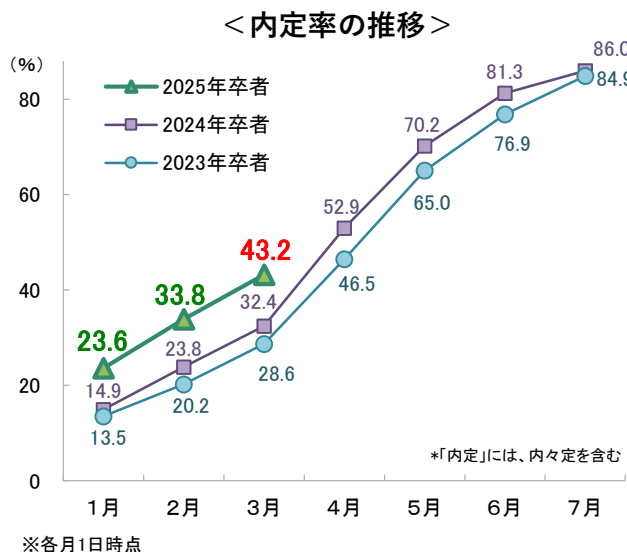
- 「いまさらという感じ」が前年より 9 ポイント増加し、過半数に (54.0%)

※「内定」には、内々定を含む ※1 日以内のプログラム等も含めて尋ねた

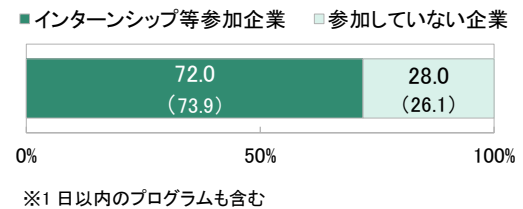
1. 3月1日時点の内定状況

3 月 1 日以内で内定を得ている学生は全体の 43.2%。前回調査 (33.8%、2 月調査) からの 1 カ月間に 9.4 ポイント上昇し、就活解禁のタイミングで就活モニターの 4 割が内定を手に行っていることがわかった。前年同期実績 (32.4%) を 10.8 ポイント上回っており、現在の日程ルールが 9 年目を数える中で、早期化が一段と進行していることが読み取れる。内定企業の 7 割 (72.0%) がインターンシップ等のプログラムに参加していた企業。

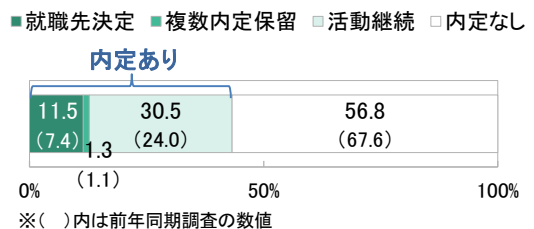
内定取得者の大半は内定を保持しながら就職活動を継続しており、就活終了者 (就職先決定) はモニター全体の 11.5%。多くの学生にとって本番はこれからだ。



< 内定を得た企業の内訳 >

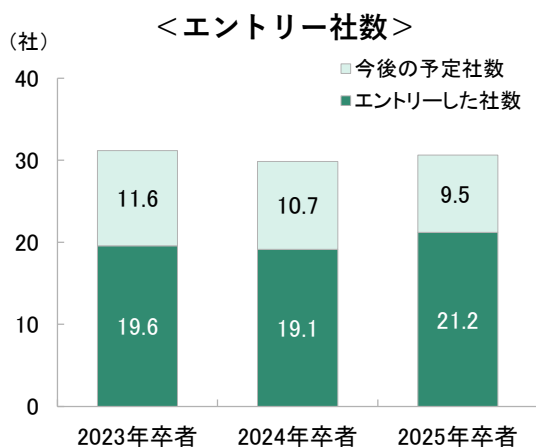


< 活動状況の分布 >

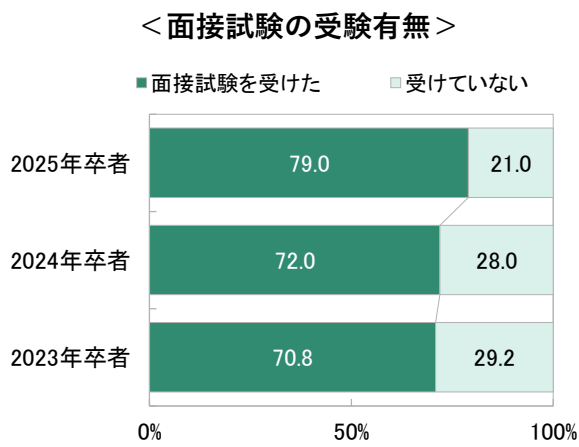


2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は21.2社で、前年同期実績(19.1社)を2.1社上回った。2年前(23卒)と比べても多く、3年ぶりに20社台になった(いずれも3月調査時点)。ただ、今後のエントリー予定社数は平均9.5社とやや少ない。足し合わせると前年並みの水準であり、企業を絞り込む傾向に変化はなさそうだ。すでに面接試験を受けたという学生が8割に迫り(79.0%)、早い時期に接点を持った企業の選考が進んでいることで、エントリーも前倒しになっているのだろう。



※各年3月調査

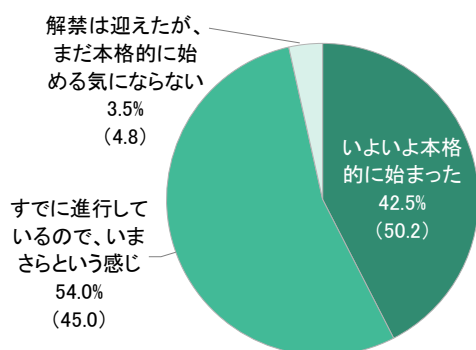


※各年3月調査

3. 就職活動解禁を迎えた心境

3月1日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでみると、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人の割合は前年調査より大きく減少(50.2%→42.5%)。代わりに、「いまさらという感じ」が増加し半数を超えた(54.0%)。上述のように本選考が前倒しで進み、内定率が4割を超える状況では、解禁日を意識する学生が減るのもうなずける。

<就職活動解禁を迎えた気持ち>



※()内は前年同期調査の数値

■学生の声

- 3月からここまで忙しくなるとは思わなかった。ES、各企業のマイページ登録、説明会、適性テストなどやるのがいっぱいある。 <理系男子>
- 解禁に合わせて説明会を行う企業も多く、いよいよ就活本番として気を引き締めていきたい。 <文系女子>
- 早期選考で内定を得られなかったため、本選考で内定を得られるか不安。 <文系男子>
- 内定をとりあえず受諾していいのか悩む。 <理系男子>
- 早く終了させ、研究に集中したいです。 <理系女子>
- 内定が1つあるとはいえ、第一志望の選考を控えているので、今後も油断せず頑張っていきたい。 <文系女子>

調査概要

調査対象：2025年3月に卒業予定の大学3年生(理系は大学院修士課程1年生含む)
 回答者数：1,175人(文系男子290人、文系女子439人、理系男子280人、理系女子166人)
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2024年3月1日~5日
 サンプルング：キャリアス就活 学生モニター2025